

年頭にあたっての所感

信州大学工学部の「地域共同研究センター」が20周年を迎え、盛大に記念式典が開催された。発足当時は、全国で33番目のスタートではあったが、今では地域連携を図るフォーラムやセミナーの開催、企業等からの技術相談、共同研究などが評価されて、信州大学が2年連続で全国大学地域貢献度No.1の評価を得る原動力となっている。

こうした活動を踏まえてみると、J A貢献度No.1は無理があるとしても、J A長野開発機構は、「信州大学食・農産業の先端学際研究会」やJ C総研の「J Aの在り方研究会」等の様々な研究活動への参画を通じて、幅広い連携活動による調査研究の相乗効果を高めながら、J A長野県長期ビジョンの実践に寄与することが一番の使命である。
(常務理事 藤本人寿)

【地域開発部】

研究報告 1 長野県における支所協同活動の活性化

10月9日に開催された「協同活動フォーラム」(J A長野中央会主催・J A長野開発機構共催)において、標記テーマでの研究報告を行いました。この報告に当たっては、県内すべてのJ A支所長さんに対してアンケート調査を行い、多数より回答を得ました。この場を借りて感謝申し上げます。

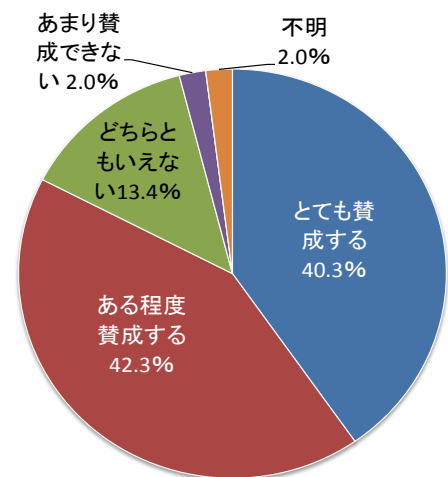
図に示されるように、支所での協同活動を活発化させることについて、支所長さんの多くは賛意を示しています。しかし、「やりたいけれども人手が足りない」というのが実態だと思います。フォーラムでは、支所での協同活動の実施体制として、「支所長中心型」「専任職員対応型」「1職員1担当型」の三タイプをあげ、それぞれのポイントについて解説しました。

また、支所行動計画や支所だよりの策定状況と見直し方向、支所運営委員会を通じた組合員参画の促進、職員のモチベーション向上策などについて課題提起しました。

今後とも当機構では支所での協同活動のあり方について研究を深め、積極的に情報発信していきます。

なお、アンケートの結果概要については、J A長野開発機構のHP (<http://www.janis.or.jp/kenren/ird/index.html>) をご参照ください。(主任研究員 西井賢悟)

Q. 支所を拠点に地域や暮らしに根ざした活動を進めることをどう思いますか？



研究報告 2 土壌微生物を活用した堆肥(土壌改良剤)試験

現在、農業生産過程から発生するバイオマス(農産未利用資源)を活用して、産地特有の堆肥生産を目的に、微生物資材を用いて臭気による環境負荷をかけずに有機物であるバイオマスを早期分解し、そして、土壌改良機能を有する地域循環型堆肥生産を試みています。

本年は、J A塩尻市においてワイン搾汁残渣であるブドウを原料とした生産と、J A須高ではキノコ生産で排出される使用済み培地に学校給食残渣等を加えた試験製造を開始しました。本年度に生産された堆肥は3月からの施肥・栽培試験に用いられ、土壌微生物分布、C/N比変化、生育試験などを行い、今後の普及に移していきます。(首席研究員 大熊桂樹)

【人材銀行局】

とってもカンタンに 登録できます！ (HPアドレス <http://www.janis.or.jp/kenren/ird/jinzai.html>)

人材銀行局は、長野県内のJAやJA関連会社を中心に、堅実な派遣事業25年以上のキャリアを誇っています。
お仕事をお探しの方は、あなたの新しいライフスタイルづくりのお手伝いに、人材銀行局を是非ご活用ください。
労働大臣派遣許可番号：般20-010003 / 派遣許可年月日：昭和62年4月1日

お仕事の内容	
業種	一般事務・経理事務・受付・OAオペレータ・ OAインストラクター・金融窓口・バックヤード・ 共済契約事務など、 JA関連業務を中心に幅広く取り扱っています
勤務場所	長野県内のJA・JA関連会社・ JA長野県ビル内各団体



登録方法について (お仕事をお探しの皆さまより、)

次の2種類の文書をEメールで送信してください。

受理後、人材銀行局からご連絡いたします。応募中の情報は厳守いたします。

* 「人材就業登録申込書」 (Word形式)

* 「職務経歴書」

書式は自由ですが、ExcelまたはWord形式で、印刷サイズはA4をお願いします。

こちらに添付して送ってください。



① まずここをクリック

② 職務経歴書の書式は自由

③ メールに①と②を添付して送付

『頑張ってます。派遣職員』



氏名「宮下 庸子」さん

今回は、南信地区（伊那市）より紹介します。
現在、JA共済損害調査（株）信越支社勤務仕事にも慣れ、フルタイムで活躍できるのがうれしいと、今仕事・子育てと頑張ってます。
旦那さんは、伊那市「西駒山荘」の管理と冬季は、酒蔵の蔵人として有名です。最後に人材局に登録をし、タイムリーにお仕事の紹介をうけ、とても感謝してますとのこと。

～編集後記～

年が明け、まだ来ぬ春が待ち遠しく感じられる今日この頃です。

新春早々ではございますが、本年もよろしくご指導、ご協力をお願い申し上げます。

年度末を迎え当機構も、25年度の総括に向け日々事業推進に努める毎日です。

皆様のご意見、ご要望をいただけたら幸いです。(Y)

<発行所>

一般社団法人 長野県農協地域開発機構

長野市大字南長野北石堂 1177 番地 3 JA 長野県ビル 11 階

TEL 026 (236) 3500 (代表) / FAX 026 (236) 3505